

○	現場	○	事務所内
---	----	---	------

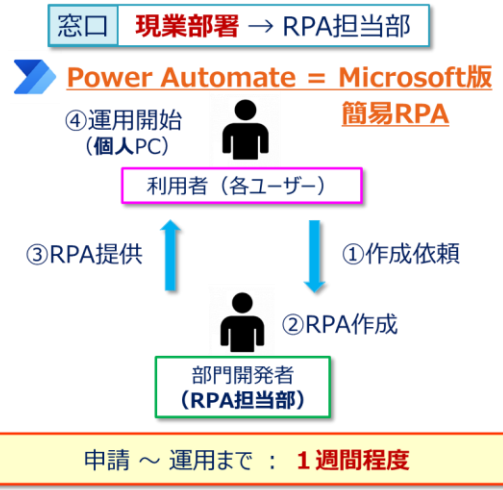
「RPA」の活用による労働時間の短縮

・働き方改革を進める上で、労働時間短縮に有効なツールが「RPA」である。

当社では、Microsoft社の標準搭載アプリケーションである「Power Automate」を活用し、単純な繰り返しの事務作業等をロボットに実行させ、現場や内勤の現場支援部署の労働時間削減を実現している。

・具体的には、以下のような実行プログラムを作成し、日常業務に取り入れている。

(申請から運用まで、1週間を目標にスピーディーに対応)



取組み内容

RPAの作成実績と時短効果

No.	名称	内容	時短効果
1	休日稼働現場のリスト化	安全関連システムより、休日稼働予定現場(休日作業届け提出現場)を抽出し、かつ作業区分毎(危険作業、火気使用等)にリスト化	▲89%
2	稼働人員月報へのデータ入力自動化	ワークサイトより、職種ごとの出面データを稼働人員月報へ自動誘導入力	▲50%
3	顔認証システムによる入退場者の実績承認作業の自動化	作業員が顔認証システムにて現場入退場したという日毎の実績データを自動承認	▲80%
4	GSとCCUSのヒモ付け未実施者のリストアップ自動化	GSとCCUSのヒモ付けが完了していない作業員を業者別に自動でリストアップ	▲93%
5	電子マニフェスト月別請求金額自動算出(棟別)	産廃管理システムより、特定年月の入力で、業者別、棟別に請求金額を自動計算	▲96%
6	各現場の特定日における特定職種を除いた出面のリスト化	ワークサイトより、CCUSタッチ率調査に必要となる各現場の特定日の当社及び、JV職員、警備、自動車運転工を除いた出面を自動リスト化	▲60%
7	現場入場時における顔認証システムの実施率自動算定	部署毎、現場毎に現場入場時における顔認証システム使用実施率を自動算定	▲90%
8	顔認証システムの実施者確認	顔認証システムの実施者と出面集計の比較	▲96%
9	得意先別作業予定報告届一覧の作成及び、本社への作業予定報告書自動送付	得意先工事に関する現場からの「週間工事計画・管理結果報告書」データの収集、管理用一覧表の自動作成及び報告書修正後の最終版を本社へ自動送信	▲67%
10	顔認証システム実施率の自動配信(デジタルサイネージ)	支店発信のデジタルサイネージ情報で部署毎、現場毎、業者毎の日々の顔認証実施率を自動配信	▲73%

効果

- ・効果は上表に記載のとおり、50~96%の時短効果がある。プログラムの作成申請があれば、RPA担当部でスピーディーに対応し、現場からも大変好評である。
- ・ヒューマンエラーの心配がなく、正確な結果が得られる。(プログラムエラーの場合はストップし、結果が出ない。)
- ・属人化されている業務を、PCを介して水平展開できる。

留意事項 / その他

- ・帰社前にプログラムを稼働し、翌出社時に完了の確認をするが、データ数が多いと夜間で作業が終了しない場合もあり、RPA専用のパソコンが必要となる。